



子どもたちのためにより良い自然を残すことを目指し、大人と子どもで一体となって活動している。



宮田ほたるの里を守る会 星野 次夫さん

地域づくりのきっかけ

この宮田地区は一級河川が3本流れていることや、各所に清水が湧き出ていることから、昔はホタルがたくさん生息していました。水路の整備や効率化によってその数が減少してしまいました。

そこで、昔の風景を取り戻そうと、平成8年から宮田地区生涯学習役員と周辺農家の皆さんにより、ホテルと共に歩む地域づくりとしてホテルの保護活動を始めました。

自然な形で保護活動

具体的には、荒れた水路の整備や下草刈り、土砂上げ、周辺ごみ拾い、ホテルの餌となるカワナナの養殖など、ホテルが棲めるような環境の整備を行っています。

また、ホテルの幼虫の上陸調査及び飛翔数の確認など、生態系の調査も行っています。

その他にも、小学校の総合学習の時間に環境に関する授業を行ったり、水中生物体験学習やカワナ

心がけていること

活動をする上でポイントになるのは会員の自主性を尊重することです。楽しみながら活動に参加し、会員同志で親睦を深めてもらうことを大切にしています。例えば、下草刈りなどの作業を行う際も、皆で話をする休憩時間を設けるなど、意識的にコミュニケーションづくりを行っています。

活動を始めた当時は大人だけの活動でしたが、年代を超えた一体的な活動を行うため、小・中学生及び高校生を含めた活動体系が構築されました。私たちは、地域の人が全員を知っているわけではありません。しかし、こういったホテルの保護活動を通して集まることによって、ホテルという神秘的な存在を絡めた形で、様々な世代の人たちの交流が生まれます。現在、高校生以下の子ども会員は約70名にもなります。子ども会員が増えると、子ども同士の交流も生まれますし、子どもの視野

ホテルを通じた交流

も広がります。また、大人も子どもたちから刺激を受け、一層活動が活発化していくと考えています。

私たちが主催となり開催しているホテル祭りには、毎年2000名以上のお客さんが訪れます。

また、ホテルが飛ぶシーズン中は平日にも関わらず、多くのお客さんが訪れてくれます。何度もお客さんを訪れてくれたり、感動して帰るお客さんの姿を見ると、活動を続けてきて良かったと思います。

最後に一言

宮田地区には、地元の人が維持管理してきた重要文化財が数多くありますし、昔の宮田の風景をもとに作詞した宮田音頭もあります。この地区には宮田の歴史を伝えてきた立派な人がたくさんいます。我々も元気に楽しくホテルの里づくりに取り組むことを通じて、宮田の歴史の一つを繋げていきたいと考えています。



日々の地道な活動により、今では数百匹ものホタルを確認することが出来るようになった。

ナ捕獲放流体験を行うなど、子どもたちを対象に体験を主体とした環境学習を実施しています。昔はホテルが飛んでいることを当たり前だと感じていました。そのため、はじめはどのように保護活動を行えば良いのか分からず、試行錯誤を重ねながら活動に取り組んできました。その結果、次第に環境が整い、ホテルの数も増えてきています。近くに線路や道路がある中で、養殖でなく、自然にホテルの数を増やすことができたのは、とても素晴らしいことだと思っています。

「ホテルを通じて生まれる地域の人たちとの関わり」

宮田ほたるの里を守る会 星野 次夫さん

地域づくり人物リレーは、県内で地域づくり活動をされている方を取材し、紹介して参ります。第13回目は、宮田ほたるの里を守る会の星野次夫さんにお話を伺いました。



好きな言葉

「心」という言葉が好きです。20代の頃、上司に「人間は心だ」ということを言われました。人間対人間の付き合いにおいては、何事も心から接し行動すれば必ず道は拓けるし、良くなります。

番外編もご覧下さい！

今回の取材では、ホテルの生息地や普段の活動拠点などもご案内いただきました。誌面の都合上、掲載ができなかった写真などを当協議会のホームページに掲載しています。どうぞご覧下さい。

WHO IS NEXT?
次にバトンが渡る人は誰でしょう?
次号をお楽しみに!!